



No.263

冬号

今、これからの「教育」を共に考える

日本の教育の方向性と内容を示す「学習指導要領」の改訂に向け、国では審議が続けられています。その論点整理の中で、①「主体的・対話的で深い学び」の実装、②多様性の包摂、③実現可能性の確保が、審議の基本的な考え方として提起されています。

伊丹市では、子ども一人ひとりのちがいを豊かさにつなげる「カラフルな教育」を推進しています。これは、次期学習指導要領がめざす学びと理念は同じであると考えています。一人で学ぶことも大切ですが、他者と協働しながら学ぶことによって、新たな発見をしたり、表現することによって考えが深まったりします。また、子どもの興味関心はさまざまです。考えたことを表にまとめるのが得意な子もいれば、絵で表現するのが得意な子もいます。教室に集う子どもたちのちがいを肯定的に捉え、互いのちがいを認め合い、より豊かな学びができる教育をめざしています。

現行の学習指導要領は、平成29年（高等学校は平成30年）に告示されました。ご存じのようにコロナの感染拡大前になります。それから今までの間に、子どもを取り巻く環境は大きく変化しました。そして、これからも予測困難な時代となります。

そんな時代を生きる子どもたちに、どんな教育が必要なのか、学習指導要領の審議を注視しつつ、日々の教育実践を先生方と一緒に深めていきたいと思います。

総合教育センター所長



戸田 征男

■ この冬、先生方が“こんな未来を創りたい”を語る時間を。

ティーチングコンパスを知っていますか？私たち教師は一生懸命やってきた一方で、先を見通す視点が欠けていたかもしれません。日本も作成に関わったラーニング／ティーチングコンパスは、教育関連の法律にも影響を与えています。子どもたちと教師は「未来を創る当事者」です。

次期学習指導要領の改訂は、子どもと教師の可能性を信じる改訂です。「こんな子どもに育てたい」を共に話す時間を大切に。教師は変化の担い手です。

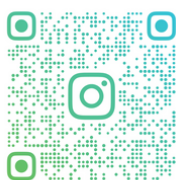
地道に学ぶ人を励まし、共に学ぶ。そんな教師が子どもたちと共に未来を創るのではないのでしょうか。

（※11月の管理職向け教育長講話をもとに作成）

■未来にワクワク 2040年はどんな未来？どんな学校？どんな学び？



詳しくは
次のページcheck



ITAMI_EDUCATIONCENTER_COLORFUL



多様な子どもたちの深い学びを確かなものに 一子どもと共に「未来」を創るコンパス



Excellence

質の高い学び

子どもの思考力・判断力・表現力の育成を
目的に現行学習指導要領の「主体的・対話
的で深い学び」を実装
学び・知識のつながりをイメージできるよう
生きた知識を伝える



Equity

多様性の包摂

子どもたちの持つ個性や能力、興味関心
に応じ多様で柔軟な学び方を支援
「ちがいを豊かさにつなげる」教育
子どもの実態にあったカリキュラム編成



Feasibility

実現可能性の確保

事務作業の効率化・デジタル化等による
教師・学校の負担軽減と制度設計により
持続可能な教育体制を構築
教材研究や研修を通じた資質向上

共に「北極星」をみあげて
ちがいを豊かさにつなげる

どうあるか（存在）

目の前の子どもとの学びを大切に
先生自身の自分らしさが生きる実践
常に挑戦する教師



Being

つながり（帰属）

多様な仲間である子どもや先生と安心して
学べる、思いを語れる場
活気ある学習コミュニティの活力源となる学校・地域



Belonging

どうなるのか（成長）

先生の強み・得意を伸ばし、可能性を広げ、次
の一步も共に
いつでもどこでも活躍できる伊丹の先生の育成
学び続ける専門家



Becoming

子どもと先生が、学びをたのしめる教室へ
未来への一步

- 授業力を磨く（研究・研修）
- 未来の学びを対話（研修）
- 子どもに合った学びをデザイン（教育課程）

総合教育センター支援（冬のお知らせは裏面へ）

- ラーニング・コミュニティの構築、醸成
- 校内研究、グループLab.C等の主体的な実践の支援
- 教職員研修のアップデート

子ども版

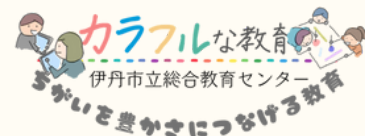


保護者版





センターからのお知らせ



動画配信（オンデマンド）研修

●子どものウェルビーイング実現講座
「子どものつまずきをみとり、ことばと思考力を育てる教育」

今井むつみ研究所所長

慶應義塾大学名誉教授 今井 むつみ 氏

●研教育課題対応講座

「次期学習指導要領の方向性～これからの学校が求められること～」

京都大学 准教授 石井 英真 氏



オンライン相談開始

授業力向上（カリキュラム）支援センター

2名のコンサルタントが教員の悩みや授業改善をサポート。

今年度からオンライン相談を開始。

※詳細は教職員向けグループウェア通知を確認ください。



指導主事による「次期学習指導要領（論点整理）」に関するアウトリーチ研修も行います（市内学校園所）

総合教育センターまでお問い合わせを。

今年度も「カラフルな教育」の実現をめざす伊丹市の取組を紹介する機会に恵まれました。



発信1 EDIX東京

「伊丹市におけるiPad活用の成果と課題」



松本 唯 指導主事
（総合教育センター）



発信2 ジュウなイジュウ （兵庫県主催）

「多様化する子どもたちに対応する『カラフルな教育』」



窪田 えみか 指導主事
（総合教育センター）